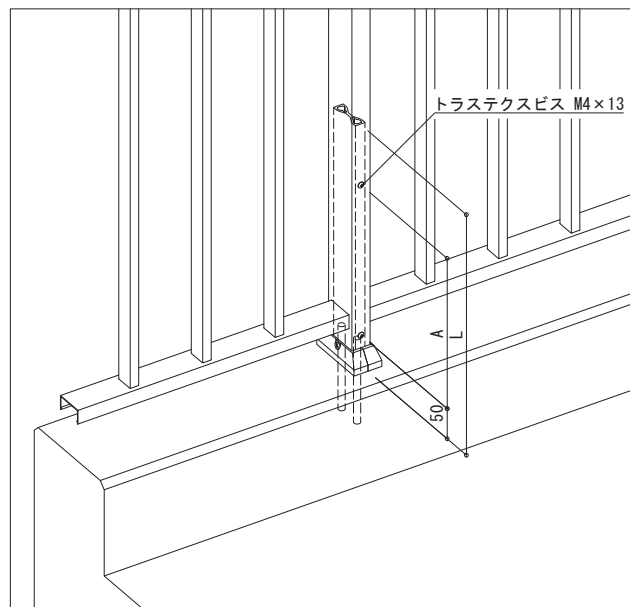
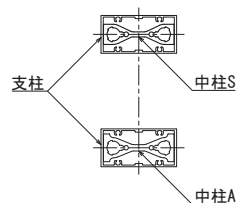
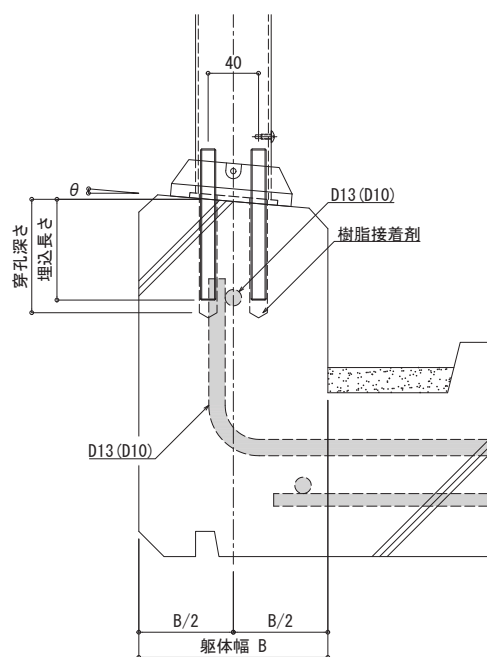
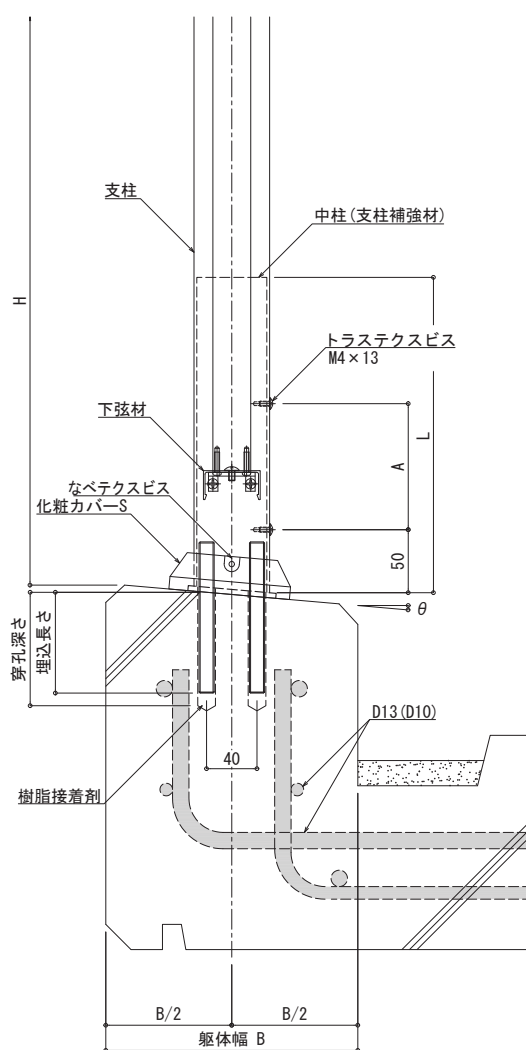


樹脂アンカー

- 躯体天端に穿孔した穴へ樹脂接着剤を注入し、支柱固定用のアンカー金物を挿入して固定する工法です。
- 中柱(高強度アルミ押出型材とステンレスねじ棒で構成)は、高強度で耐久性に優れています。
- 躯体天端に接する中柱にベースプレート設けることで、強度の安定性とたわみの減少を図っています。
- 足元の化粧カバーは、耐候性、耐久性に大変優れたアルミ材を使用しています。
- 支柱の中に雨水等が浸入した場合、支柱と中柱のすき間から排水する構造としています。



強度上必要となる躯体条件



※穿孔の途中でコンクリート中の鉄筋(配筋)に当たり、穿孔ができなくなった(鉄筋干渉)場合でもアンカー部の切断は行わないで下さい。所定の強度が確保できないおそれがあります。
p.104「後付工法 鉄筋干渉への対策」を参照してください。

水平荷重		中柱						躯体幅 B(mm)		支柱間隔 W(mm)	手すり高さ H(mm)
(N/m)	(kg/m)	種別	A (mm)	L (mm)	埋込長さ (mm)	穿孔深さ (mm)	穿孔径 (mm)	鉄筋との干渉を避ける	必要強度を確保する		
1225	125	中柱S250	100	250	80	90	φ 14.5	200以上	150以上	1200以下	1200以下
1470	150	中柱S400	250	400	100	110	φ 14.5	200以上	175以上	1200以下	1200以下
2940	300	中柱A700	550	700	140	150	φ 14.5	200以上	200以上	900以下	1200以下

※コンクリート設計強度21N/mm²の場合の支柱間隔と手すり高さを示します。

※手すり強度と躯体の安全性や耐久性を確保するには、躯体の設計(躯体幅、コンクリート強度、アンカーと鉄筋が干渉しない配筋設計)が重要です。

※躯体天端の水勾配は10度まで対応します。水勾配が5度までの場合は中柱のみ、5度を超え10度までの場合は支柱と中柱の水勾配に合わせ斜めにカットします。